

食育プログラム開発チーム 食育戦隊ゴハンジャー



①チームの概要

平成18年度から学生の課題解決能力の育成ならびに食育の推進という地域課題の解決をテーマに、地域の子どもたちとその保護者を対象とした食育活動を行っています。メンバーは栄養学科で学ぶ1～4年の学生41名および教員5名（R3年現在）で構成されており、学生はプログラムの実施だけでなく企画・運営・評価に関わり、教員とともに1つのプログラムを作り上げています。

チームのオリジナルキャラクターであるゴハンジャーは、三色食品群をイメージして、赤色のチキミ、黄色のヨネオ、緑色のピーコの3人組で構成されています。



②活動

子どもたちの生活に密着した場所や子どもたちが興味を持って出向く場所で活動を行うことにより、日常生活の中でくりかえし振り返りができるように工夫しています。

スーパーマーケット



幼稚園



③教材

参加者の年齢や活動目的に応じて必要な教材を使用できるようにオリジナルのものを作成しています。

はてなボックス



箱の中に入った食べ物を触った感触だけで何の食べ物か考え、触った特徴が食べ物によって異なることを学ぶ。

断面カード



様々な方向から切った食べ物の断面を観察し同じ食べ物でも切る方向によって見え方が異なることを学ぶ。

旬に関する教材



食べ物には特に美味しく感じられる旬があることを学ぶ。対象者や活動に応じて使用媒体を使い分け、より効果的に子どもの興味・関心を引き付けることができるように工夫している。

④昨年度の活動

オンラインでの遠隔食育活動に挑戦!!

本大学と県内の幼稚園や児童クラブを繋いで食育活動「フケンコーから取り戻せ！王様のお昼ご飯～ゴハンジャーと食べ物クイズに挑戦だ～」を行いました。オンラインでの活動は初めての試みで不安もありましたが、子どもたち側を「人間界」、大学側を「ごはんの国」とする等、様々な工夫を凝らしてプログラムを作り上げました。

ごはんの国を疑似体験できるように、人間界側の魔法のポストに王様のお昼ご飯を投函すると、ゴハンジャーがいるごはんの国側のポストに届く仕掛けをすることで、子どもたちと一体感が持てる楽しい活動にすることができました。

魔法のポスト



このプログラムにチャレンジしたことで、コロナ禍でも実施可能である新たな食育活動の形を見出すための一歩を踏み出すことができました。

ポスター制作者 食育プログラム開発チーム 食育戦隊ゴハンジャー
4年 大場美歩 坂本萌 3年 松村星里 2年 伊藤和奏 大隅暁代
問い合わせ先 山口県立大学 看護栄養学部 栄養学科
加藤元士 TEL 083-929-6414
<https://www.yamaguchi-pu.ac.jp/nn/nt/shokuiku-gohan/>
でもこのチームの活動紹介を行っています。

